

## 喜多龍一十勝連合後援会

〒089-0533

中川郡幕別町札内新北町74番地16

TEL / 0155-56-7755

FAX / 0155-56-7766

発行責任者 / 千葉 幹雄

発行日 / 令和4年1月7日

http://www.kitaryu.com

赤れんが



RYUICHI KITA DOUSEI KAWARABAN No.26

一昨年一月末から始まつた新型コロナウイルス感染症は、昨年秋口まで五波にわたり終息が展望できない状況が続きましたが、十月中旬以降感染者数が大きく減少し始め、十一月に入り劇的な減少が続いております。本文は十一月末に書いていて、年末年始以降どうなつてゐるのか想像つきません。今時点では世界に目を転じると新たな感染拡大の真つ最中の国も多く、特にドイツでは一日の感染者五万二九七〇人、死者一〇一人と深刻で、隣国オーストリアは十一月二十一日完全ロックダウン実施、お隣の韓国では

六月に入つて行動規制緩和以降急速に感染拡大し、その六割強がワクチン二回接種済み後感染のブレイクスルーダそうです。更に、十一月末に南アフリカで新たな変異株「オミクロン」が見つかり、これによりその日の日経平均株価七四七円安、NYダウはじめ世界経済も鋭く反応、今までなつてゐるのだろう。換気も辛くなる本道は気の抜けない季節に向かつており、第六波が来るのか、社会・経済活動のフル再起動に向け、今一度気を引き締めていこうではありませんか。

さて昨年は、衆議院任期ぎりぎりでの解散選挙となり、中川支部長が議席を得たことは十勝にとって何より良かった! 丸四年十勝も大変だったし、中川さんも大変だったと思います。しかし、その大変も苦労も無駄ではなかつたと、十勝の多くの人に言つていただけるものと確信・期待をしています。

昨年の十勝は基幹産業の一次産業では、赤潮で大変な水産業、建築材が入つてこないウッドショックの木材産業、コロナ禍で余る生乳の令和二年度の余乳対策八〇億円を本道生産者のみがKg当たり一円拠出、これらに対する対応はしつかり議論し、対策していかないとなりません。今年も変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げ、新春のご挨拶と致します。

あけましておめでとうございます。



## コロナ第六波に備えよう

十勝は九月半ばからゼロの日が多くなり、十月上旬から十一月十四日現在三十八日間ゼロで、札幌も一桁の下、東京も十月半ばすぎから十一月十四日現在二十八日間連続五十人未満と、第五波までに比べて、劇的な減となつています。しかし諸外国の状況を見る時、未だ予断を許さない状況がつづいており、更に悪化する想定のもと、国も道も病床の確保をしており、道はすでに対応済みです。

十勝管内は一〇一〇年内に、他管内に先駆けて、十勝総合振興局が十勝医師会、管内町村職員のマンパワーの協力を得て、PCR検査体制の確立、入院病床の確保や、軽症者受けの宿泊療養施設を開設してきました。また十勝総合振興局では、帶広保健所が窓

口となり、管内市町村において生じた余剰ワクチンを道立緑ヶ丘病院が保管し、必要とするワクチンを少量でも継続的に調整・供給できるよう、今年十月一日から「十勝ワクチン供給センター」を開設しました。

三回目のワクチン接種

国は一回目の接種から八か月以上経過した方に二回目のワクチン接種を決めています。今日時点で(十一月十五日)、誰から接種するか、交差接種(例・ファイザー社製を二回接種した人が、モデルナ社製を接種する)はどうするかなど国から示されていませんが、これまでの接種の経験を活かし三回目接種に國も自治体も臨むので、みんなで協力していましょう。

トピックス



衆議院議員選挙 藤丸前フィナーレ



衆議院議員選挙 陸別

# トピックス

**昨年（令和三年）八月「道議会自民党・道民会議ゼロカーボン推進本部」が設置、喜多龍一道議が本部長**

気候変動の要因とされる温室効果ガスの排出を二〇五〇年までに実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」が、六月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針（二〇二二））」に明記され、八月には国及び道内の国の出先機関と道による組織（タスクフォース）を立ち上げました。

脱炭素の取り組みは、ファイフスタイル等の家庭部門から一次産業を含む業務・産業部門、化石燃料の減少や森林吸収源対策の推進、新エネ・省エネの層の取り組みなど、多岐にわたります。八月道本庁に組織を立ち上げましたが、市町村が地域と直接協力する体制が振興局に整っておらず、早急に整えなければなりません。脱炭素の取り組みは、技術革新や新たな産業に育つしていく可能性があります。世界的な異常気象が危惧される中、本道は積雪寒冷地で、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量が全国平均の一・三倍。全国に先駆けて取り組む必要があります。

『着々と進む高速交通ネットワーク』  
〔二〕残るは高規格道路帯広～広尾自動車道、豊似～広尾間の新規事業化！

○北海道横断自動車道の暫定と車線区間の四車線化

平成二十八年連続台風で陸の孤島を即時救ってくれた道東道。一方で対面事故が懸念される日本一危ない高速道路

平成三十一年トマム～清水IC九・五km 令和二年三月占冠IC～トマムIC九・九km

令和三年三月トマム～清水IC二・一kmが事業化

○北海道横断自動車道の追加インター「エンジ次々と事業化へ！」

令和元年九月音更帶広～池田IC間の「長流枝（おさるじ）スマートIC」を準備段階調査採択

令和二年十月音更帶広～池田IC間の「長流枝（おさるじ）スマートIC」新規事業化決定

○令和三年七月北海道横断自動車道の当面着工しない区間（足寄町～陸別町陸別間）の事業再開（凍結解除）が決定

○令和三年八月トマム～十勝清水IC間の「新得スマートIC」を準備段階調査採択

同十一月二十九日第一回準備会開催

## 十月一日自民党道連太平洋沿岸赤潮被害対策本部を設置

本部長 伊藤良孝、本部長代行 喜多龍一、幹事長に笠井龍司（釧路市）、事務局長に桐木茂雄（釧路管内）

九月二〇日に釧路市で赤潮を確認以降、根室・釧路・十勝・日高管内をはじめ、被害が広がりを見せ、十一月十一日現在、被害総額八十億円としていますが、日高管内のツブ・タコ・ナマコなど最大九十億円が入っており、今後の魚種も心配され、赤潮は居座り、漁場の回復と資源の確保・放流等に日途がつくのか、といつ心配のさ中にあります。

この間、九月三十日広尾、大樹両漁協等の視察、意見聴取を皮切りに、十月の農水大臣はじめ国への緊急要請、厚岸から日高までの現地調査、十一月に、補正予算閣議決定前、農水副大臣、党水産部会長、水産

府長官はじめ国への要請を、道や町村とともにに行つてきました。

被害状況の把握や原因究明、モータリングや発生メカニズム等の「緊急的な対策」と、漁場の回復と生産の回復、漁業経営の再建や気候変動との関連性の究明など「中・長期の対策」を、道や市町村、団体とともに強く求めてきました。また、四年間水揚げが見込めないウニや七

八年かかるツブをはじめ、水産加工や流通など地域経済に大きな影響

を及ぼすことも懸念されています。

赤潮の今後の動向など、中長期にわたり、漁業者や漁協を支援するための枠組みの構築、対策を実行してまいります。

**小児・AYA世代（思春期から二十歳代までの世代を指す）のがん患者等の妊娠（にんよう）性温存療法研究促進事業の実施を決定！**

(一) 事業の概要、及び助成の対象者

令和三年（二〇二二年）十一月二十六日道は、がん等の治療により妊娠性が低下する恐れのある患者で、卵子や精子等の凍結保存をする四十歳未満の方に対し、高額な自費治療であることから、費用の一部を患者に助成することで、経済的負担の軽減を図る。

※令和三年四月以降（まで遡及できる）に妊娠性温存の治療を受けた方が対象となります。

(二) 今後のスケジュール 一月下旬 申請受付開始予定

（医療機関の準備業況等により、受付開始時期は変わる場合があります）



鈴木知事らと総務大臣に赤潮対策の要請



赤潮被害業況視察 大津



**PHOTO**

# 写真で見る2021年、夢あり



赤羽一嘉国土交通大臣と  
JR北海道の経営再建などの意見交換



地域政策懇談会 各自治体とリモートでつなぐ



中川支部長と小麦収穫回り



自民党道連衆議院選対本部長高橋はるみ参議・  
中川支部長十勝回り 川西農協



道議会佐藤 槟洋水産林務委員長と  
広尾町赤潮視察



ネイパル足寄(北海道立青少年体験活動支援施設)  
の視察・激励



赤潮被害状況視察  
広尾町音調津ウニ種苗生産施設



幕別清陵高校グランド整備視察



衆議院議員選挙 十勝畜産農協



北海道糖業本別製糖所視察



宮坂建設職域接種視察



西江建設職域接種視察



TENGAロケット打ち上げ成功

# 北海道夢あり

LIBERAL & DEMOCRATIC

# 自由民主

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京03(3581)6211(代表)(毎週火曜日発行) 定価1部110円(税込み)

(昭和30年6月15日第二種郵便物認可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

喜多龍一のホームページも是非ご覧ください。

<http://www.kitaryu.com>

皆さんこんにちは、喜多龍一事務所に来て七年目になりました大澤友記です。未だコロナウィルス感染症の脅威が続いておりますが、それでもウィズコロナ・アフターコロナと、コロナありきの生活を考えていかなければならぬ今日この頃。去年はコロナ禍の中、少しづつ対応していく中であります。国民への二回のワクチン接種、厳しい感染対策の中で開催された東京オリンピック、そしてやつてきました衆議院選挙。十勝に政権与党の議員を！と意気込んで臨んだ選挙戦は、応援していただいた皆さんの熱意と信念と十勝への強い想いが実を結んだのか、小選挙区は残念でしたが、中川ゆうこ支部長が比例での奇跡の当選と相成りました。私としては去年の中でも一二番目を争うほどうれしい事でした。。日本のコロナ感染状況は（現時点で）少なくなってきておりますが、それでも海外などではまだ猛威を振るつております第六波の可能性もある状況下ですが、一日でも早い日常を取り戻さなければと言う思いを胸に、今年も頑張っていこうか、と人並みな事を述べ日記のメとさせていただきます。

大澤日記

所に来て七年目になりました大澤友記です。

未だコロナウィルス感染症の脅威が続いておりますが、それでもウィズコロナ・アフターコロナと、コロナありきの生活を考えていかなければならぬ今日この頃。

去年はコロナ禍の中、少しづつ対応していく中であります。国民への二回のワクチン接種、厳しい感染対策の中で開催された東京オリンピック、そしてやつてきました衆議院選挙。十勝に政権与党の議員を！と意気込んで臨んだ選挙戦は、応援していただいた皆さんの熱意と信念と十勝への強い想いが実を結んだのか、小選挙区は残念でしたが、中川ゆうこ支部長が比例での奇跡の当選と相成りました。私としては去年の中でも一二番目を争うほどうれしい事でした。。日本のコロナ感染状況は（現時点で）少なくなってきておりますが、それでも海外などではまだ猛威を振るつております第六波の可能性もある状況下ですが、一日でも早い日常を取り戻さなければと言う思いを胸に、今年も頑張っていこうか、と人並みな事を述べ日記のメとさせていただきます。